

SDGs新聞

株式会社フジタ

巨大なものづくりって、どんな仕事？

SDGsラジオを読んでみよう！

みなさんの中に、自分でマンションやビルを建ててみたい！橋や道路をつくってみたい！と思ったことがある人はいますか？巨大なものづくり。想像してみるとワクワクしませんか？建設会社の「フジタ」は、このワクワクを子どもたちに伝えるために、「築育（ちくいく）」という、取り組みを行っています。「築育」とは、建築の「築」と育成の「育」を組み合わせた言葉です。例えば、子どもたちが工事現場の仕事を体験したり、建物をつくっているところを見学したり、地域の自然を守る仕事に参加したり。「築育」を通して、フジタは子どもたちにもものづくりの楽しさやまちづくりの大切さ、また自然を大切にすることを伝えています。そして、「将来、大きなものづくりをしたい！」と思う子どもたちを育てているんですよ。住み続けられるまちづくりのために。みなさんも、ものづくりの仕事についてちょっと調べてみませんか？

SDGsラジオの内容を、もっと詳しく知ろう！

建築・築土構木（土木）の
築
ちく

+

育成の
育
いく

=

フジタの
築育

がどうさんしょう　ちくいく　ようす
画像参照：築育とは（フジタの築育HPより）

ひとびとくらすすまちは、住まいはもちろん、学校、会社やショッピングセンターや、道路、橋やトンネルなど、わたしたちの生活には欠かせないものをつくる仕事があり、それを「建設業」と言います。また、ただつくるだけではなく、地震や台風に強く安心して暮らせたり、緑が豊かだったり、人々がにぎわっていたりと、ステキな「まち」をつくるのも、建設業の大きな役割です。そんな、安心・安全で便利なくらしを支える建設業は、社会にとって欠かせない仕事です。また、近年では地球の未来を守るために、地域の自然や環境への負担を考えながらものをつくることも、大切なポイントになっています。



建設会社のフジタは、これからの時代をつくっていく子どもたちに向けて「築育」という活動を行っています。築育とは、「建築・土木」の『築』、「育成」の『育』を組み合わせた、フジタがつくったことばです。工事中の建物の見学やお仕事体験、ビオトープづくりなど、さまざまなイベントや体験を通じて、子どもたちに「ものづくり」や「まちづくり」の楽しさや大切さ、また自然を大切にすることを伝えています。そして、この活動で子どもたちに建設の仕事のすばらしさを知ってもらい、興味を持ってもらうことで、将来建設の仕事をしたいと思う子どもたちを増やしています。社会に欠かせない仕事をしたいと思う人を育てることは、みんなが幸せにくらせる未来づくりにつながり、これからの世界を良くしていく力になります。

がどうさんしょう　ちくいく　ようす
画像参照：築育の様子（フジタHPより）

☑ キーワード

けんちく
建築

けんちく　や　ね　かべ　　びょういん　がっこう
建築は、屋根と壁がある、マンションや病院、学校やホテルなど、みんなが住んだり、通ったりしている「建物」をつくる仕事です。

ど　ぼ　く
土木

どぼく　　どうろ　　はし
土木は、道路や橋、トンネル、ダムなど「建物」以外をつくる仕事です。みんなが生活するうえで欠かせないものをつくる、社会を支えるとても大切な仕事です。

ビオトープ

い　もの　く　　ぼしよ　　い　み
生き物が暮らす場所という意味です。たとえば、カエルやチョウ、トンボなどが自然に集まってこられるように、小さな池や草むらを人がつくることもあります。

☑ 対象ゴール



みなさんにできること！

ひとびと　　ささ　　けんせつ　　し　ごと　　しら
人々のくらしを支える「建設のお仕事」について、調べてみましょう。

おさらい

じゅうきょ　　どうろ　　はし　　たてもの　　じたい　　し　ごと　　けんせつぎょう
● 住居やビル、道路、橋、トンネルなどの建物やまち自体をつくる仕事を建設業という。

ちくいく　　かつどう　　とお　　こ　　けんせつ
● フジタでは、「築育」という活動を通して、子どもたちに建設のすばらしさを伝えている。

か　　し　ごと　　おも　　わか　　せだい　　そだ　　みらい　　たいせつ
● くらしに欠かせない仕事をしたいと思う若い世代を育てることは、未来のためにとても大切。

メモ

